

—本日はよろしく願いたします。

F「よろしく。」

—早速ですが、この度リリースされる新曲について。

F「えーと、解禁は今日の18時だけ？ じゃ言っても大丈夫？」

—解禁日は本日の18時とうかがってます。

F「そうなんだ。えーと、なにから話そう（笑）。あ、とりあえずスケジュールシートとかデモリンクは載せないでね。プライベートなアレだから。」

—それでは。前作と比べて、曲のテンポはどうでしょうか？

F「ほとんど同じだね。前作やその前では、外来種だったりウイルスだったりそういう側面をすごく楽しめたから、今回はそれを直接伝えたかった。掛け声や大胆なアイデアには気を使ってる。トリッキーでありながらキャッチーなポップソングさ。」

—では、今作でぜひ見てもらいたい！というポイントは？

F「うんこミュージアムのテーマソングや、文化庁メディア芸術祭、渋谷での展示発表など、アクションのスケールが断然大きい活動が続いたけど、今作はあらためて、自分のなかのFrascoにスポットライトをあてた、という感じさ。それが自分では嬉しかったよ。」

—歌詞の見所は？

F「なんといっても峰らるのプレッシャーさ（笑）」

—ジャケットやクレジットについて

F「一緒に仕事をする人たちについて話す方が、自分のことを話すより得意だね（笑）。今回ももちろんすべてをFrasco内部で手がけているよ。戸惑うこともあるけど、多くのことを学びながらね。」

—ジャケットは、今回もteam・Frascoのメンバーが？

F「最高だよ。ぼくも初めて見たときは驚いたよ。「四角でもない、三角でもない」という思考の試行錯誤から描かれている「Press」という文字。これってキュビズムともシュールレアリズムとも異なった、あたらしさを感じないかい。」

—あらためて「シンバム」について

F「シングルとアルバムの間。それが「シンバム」さ。いま、時代にとって必要なもの、いや、必要だからこそ手に入らないもの。それが何かわかるかい？」

—はあ

F「つまり、衝動、だよ。何かを欲する、衝動。」

—というと。

F

「つまり『衝動』だね。」

—つまりシンバムとは衝動である、と。

F「そう言い換えてもいいかもしれない。」

—さいごに、今回のプロジェクトのサブ・コンテンツなどのお話を。

F「各楽曲には、たくさんの素晴らしい趣向をこらしているよ。なぜなら僕たちは、数え切れないほどのオーディエンスと繋がりたいと常に考えているからね。チームで生み出している最高のコンテンツとはなにか？語りうる最高のミュージックとはなにか。そういうものについての飽くなき追求さ。」

—追求はつづきますね。

F「最高の仕上がりだと感じられるまで、ありとあらゆる方法を試すだろうね。」

—今回はありがとうございました。

F「もういいの？」

—はい、ありがとうございました。

F「こちらこそ、ありがとう。」

・

2019年11月吉日

都内某所にて

和やかな空気に包まれながら収録。

・

●Frasco プロフィール

フルサイズ：[リンク](#)

曲・企画担当「タカノシンヤ」と歌・デザイン担当「峰らる」によるメタポッププロジェクト。

現実と非現実のミックスをコンセプトとしたオリジナル楽曲の他、イベントテーマソング・SE・CMソング等の制作も行う。

音楽ユニットでありクリエイターチーム「Team Frasco」という特殊な形態をとり、音楽のみならず映像やアパレル等多角的に活動を展開している。

2015年秋～2016年春にかけJ-WAVE RADIO SAKAMOTOにて計3回楽曲が優秀作品として紹介され坂本龍一、ユザーンに賞賛される。

2017年1月、AR三兄弟 川田十夢プロデュースの六本木ヒルズ展望台「星にタッチパネル劇場」の主題歌として制作された「Theatre」をリリース。

イベントの効果音も担当した。同曲はSportify「Viral 50チャート」日本版DAILYでJamiroquaiに次ぐ4位に入るなどスマッシュヒットを達成する。

2019年3月 文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門にMV「Viewtiful」が選出。

2019年4月には「うんこミュージアム」のテーマソングをケンモチヒデフミ（水曜日のカンパネラ）と合作。

その他にもNHKへの楽曲提供や大手企業のCMソング制作など活動の幅を広げる。

HP：<https://frascotts.com/>

●今作はミニシンバム(※1参照)『RELEASE』の四曲目となる。シングル5曲を連続で配信していき、12月半ばにミニシンバム『Release』が完結する予定。

●シンバムとはシングルで作るアルバム仕様のプレイリストであり、Frasco独自のリリース形式。シングルを連続配信していき全曲揃うとアルバムとしても楽しめるという点で、2018年に現代のサブスク戦略の一手法としても注目された。

参考記事 : Spotify×Frasco×「シンバム」=?

<https://note.mu/bananatrip/n/ne7432364556d>

● ジャケット画像

●2019/12/4 デジタルリリース

レーベル : Toro Toro Sounds

▼ Credit ▼

▷ Song / Sound

Music and Lyrics : タカノシンヤ (Frasco)

Vo, Chorus : 峰らる (Frasco)

Mixing, Mastering : Kentaro Nagata (elect-low)

▷ Artwork

Art direction, Design : 米村俊 (yorocine) ---<https://www.yorocine.com/>

▷Dedicated webpage

WEB design, coding : 峰らる (Frasco)

ミニシンバム『RELEASE』について

Spotify : <https://open.spotify.com/playlist/3fYtUvvAtOMpMzGOOtonvM?si=O-1suUxrQvmXzXnZT10T1g>

M1.lyoiyo (2019/10/30リリース)

M2.Malware (2019/11/6リリース)

M3.Catch and (2019/11/20リリース)

M4.Press (2019/12/4リリース)

M5.Balloon (2019/12/18リリース予定)

また、下記のような特別企画も同時に行われる予定だ。

- ・ 特別サイトで「Malware」のウイルス感染風MIX（楽曲データ）をGET
- ・ 曲を捕まえたら視聴できる「ハンドパワーで Catch and リリース」特別サイトの公開
- ・ Frascoがメディアに送付しているプレスリリースと、「こんなプレスリリースは嫌だ」版のプレスリリースも公開
- ・ DLコード付き風船を飛ばして楽曲先行配信、しかもGPSで行末を追ってみた！